

第2回特別職報酬等審議会会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成27年11月9日（月）午後3時00分～午後4時20分
- 2 場 所 さぬき市役所3階303会議室
- 3 出席者 [委 員]名越委員、奈良委員、大森委員、谷口委員、山坂委員、佐藤委員、金本委員、白川委員
[事務局]穴吹総務部長、向井総務課長、池田副主幹、蔵野主任主事
[関係課]十河議会事務局長、名倉議事課長
[傍聴者]1名
- 4 会議次第
 - 1 会長あいさつ
 - 2 議事
 - (1) 議員報酬の額について
 - (2) その他
 - 3 その他
- 5 配付資料
 - ・さぬき市部門別職員数の類似団体との比較
 - ・市町村財政比較分析表（普通会計決算）
 - ・市町村経常経費分析表（普通会計決算）

6 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	<p>本日は、御多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから第2回さぬき市特別職報酬等審議会を開会します。議事進行は名越会長にお願いします。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>本日は、全員の委員さんが出席されておりますので、会議として成立することをご報告申し上げ、進行をさせていただきます。</p> <p>ここで、審議に入るに当たり、委員の皆さんに改めて、確認とお願いを申し上げます。</p> <p>前回の審議会において、決定しましたとおり、さぬき市附属機関等の会議の公開基準により、本審議会は、「公開」としております。</p> <p>したがいまして、この場での御発言も含めて、審議の内容は公開されますが、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただきたいと思えます。</p> <p>そのためにも、活発な審議となりますよう、また自由な発言の場となりますよう議事の進行に努めてまいりますので、何とぞ御協力をお願いします。</p> <p>それでは、議事（1）「議員報酬の額」について審議したいと思えますが、まず、前回の審議内容について再確認をいたします。前回は、市長、副市長及び新教育長の給料の額について御審議いただきました。3役の給料については、人口減少や地方交付税の段階的縮小により財政状況が今後ますます厳しくなるため、現状維持とし、財政状況等を鑑み、自らの判断で減額措置を実施していただくことが適当ではないかということになりました。</p> <p>また、新教育長については、教育委員長と教育長を兼ねるため、職責は大きくなりますが、現状維持が妥当ではないかという意見が多く聞かれました。</p> <p>それでは、本日は、議員報酬の額について、御審議いただきます。</p> <p>最初に、前回配布された資料に、追加された資料がありましたので、その内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〈配布資料に基づき、さぬき市部門別職員数の類似団体との比較結果、</p>

	市町村財政比較分析表（財政構造の弾力性、定員管理の状況等）、市長村 経常経費分析表（人件費、公債費等）の説明）
会長	先ほどの資料につきまして、何か御質問等はありませんか。 それでは、議員報酬の額について、委員の皆様から御意見をお伺いしたい と思います。
委員	3役はみなさん自主的減額を行っていますが、議員の方の自主的な減額 はないのでしょうか。
事務局	これまでに、減額を行ったことはありません。
委員	議会で決めることなので、市長が指示することはないと思いますが、類 似団体と比べても決して低い報酬額ではないと思うので、自主的な減額 があってもいいと思います。検討をした結果、減額はしないとしている のか、検討をしていないのか、どちらでしょうか。
事務局	平成25年度の報酬審議会で答申をいただき、あらゆる角度から議論を しました。選挙前だったこともあり、議員定数の話は出ましたが、報酬 カットに関する意見は出ませんでした。 隣の市で3か月程度の期間、一部カットを実施したという話は聞きました が、さぬき市でもカットしてはどうかという議論には至りませんでした。
委員	前回の会で、政務活動費について話題になり、議員さんから実績報告が あるとお聞きしましたが、領収書は1円から提出してもらおうのでしょ うか。
事務局	1円から提出していただいております。 手続は必要ですが、領収書の写しを見ようと思えば見ることもできます。
委員	議員数のカットはある予定でしょうか。このままでしょうか。
事務局	常日頃、議員さんは敏感に感じられていると思います。こういう機会 で答申をいただいたときは、報酬だけでなく、議員定数の話にもなります。 他市でも定数を減らしたということも聞きます。このようなことを踏ま

	えて、協議をしていくようになります。
委員	市議会の開催状況について、全員協議会の開催日数が、平成24年に0回、25年0回、26年1回とありますが、さぬき市が極端に少ないと感じます。これは何を表していますか。
事務局	<p>全員協議会の位置づけはルールで決まっております、公務災害の対象となるものです。さぬき市は、オフィシャルではなく、重要な案件等に関し全員の議員さんが寄って協議する、全員協議会に代わる公に出ない会議もあります。</p> <p>全員協議会としてカウントしている平成26年の1回については、答申に対してどういった対応をするかを協議したものです。</p>
委員	今日は、報酬に関して審議することとなっておりますが、議員の定数のことまで答申に含めてもいいのでしょうか。
事務局	諮問事項ではありませんが、前回の答申の時にも、要望事項ということで附帯意見を書き加えていたように思います。
委員	定数と議員報酬の話ですが、定数が少なければ報酬はこのままでいいと思いますが、定数がこのままなのであれば、報酬を少し下げる方向に考えていただければと思います。今後、税収等も見込めず、財政的に厳しいと思いますので考えていただきたいです。
会長	今の御意見は、議員定数を減らすのであれば報酬はこのままでいいが、このままの人数なのであれば、報酬を少し下げること考えてもいいのではないかというものでした。人口や財政規模が良く似ている自治体でも、議員報酬が少ないところがありますね。
委員	香川県は全体的に高いですね。類似団体と比較すれば、低いところもたくさんありますが、香川県全体でみると、東かがわ市に次いで2番目に低いですね。香川県全体が高止まりしている感じを受けます。
委員	市民感情として、実稼働日数と年俸とをみると、どうしても高いという認識になってしまいます。議員さんがそれなりに一生懸命に動いてくれていると妥当な金額だと理解しますが、議員さんになる前と後で行動や

	<p>態度をみると納得できないこともあるし、日額で考えると高いと感じるのが本音だろうと思います。</p>
委員	<p>選挙で選ばれるので、4年間の成果、どういう形で議員さんが実績を残されたかについては、市民として関心をお持ちだと思います。実稼働した日数で割り算すれば、日当が高いとってしまいます。市民はそういう物差しでみてしまいますね。</p>
委員	<p>稼働日数の割に報酬が高く、日当にしたらいくらになるのかと思います。日当で支給していただくのが一番いいのではないですか。</p>
委員	<p>平成14年から15年の間に、報酬額が上がっているのは、何かあったのでしょうか。</p>
事務局	<p>合併時点では議員数は66名でした。特例で、旧町の方がそのまま市議会議員の立場を維持されました。その時に暫定的に決めていましたが、平成15年に議員定数を大幅に削減して26名となった時点で、類似団体や県内の団体と比較して額を改めました。</p>
委員	<p>合併後の定数削減をされてきた経緯について教えてください。</p>
事務局	<p>さぬき市の規模では上限30名以内という規定がありましたが、地方自治法の改正があり、地方公共団体に委ねることになりました。具体的にアクションを起こしたのは、行政改革推進委員会で減らしたらどうかという話があり、平成15年6月1日に26人、平成23年6月1日に22人、今年の6月1日から21人となり、徐々に定数は減っています。</p>
委員	<p>人口減少のスピードの方が定数削減より速いですね。</p>
委員	<p>どういった根拠で21名にしたのかが分かりにくいですね。本来何人が必要なのかという出発ではなく、元的人数から少しずつ減らしたようにしか思えません。本来、さぬき市として何名であることが一番いいのかが議論できてないのではないのでしょうか。</p> <p>議員は、本会議に出席していくというものではなく、1年を通してどういった議員活動をするのかが大事です。実際はいろいろあると思いま</p>

	<p>すが、議員報酬だけで生活できるのが本来です。議員活動をしたいという若い人にでてきてもらうためにも素地を作る必要があるので、単に安くすればいいというものではないと思います。これだけ必要だという金額の基本はあると思うので、そういう中で比較するべきだと思います。</p>
委員	<p>定数を減らすことは1つの大事な要素だと思います。もう1つは、自主的に執行部と同じ額でカットしてもらうという提案ができないかと思います。今の段階でいくら減らすかを決めるのは難しく、議会で決めることなので我々に権限はないとは思いますが。</p>
会長	<p>全国的な類似団体と比較すれば高いと思いますが、県内の他市と比較すれば相当高いものでもありませんし、根拠もなく大幅に下げるとは難しいです。定数の問題も検討してもらいたいというくらいしかできないと思います。ただ、ここでもある程度の方向性は決めていくべきだと思います。</p>
委員	<p>3役の方と、議員さんと、同様に考えるのは違う気がします。議員さんが1年間でどれだけ稼働されているかという議論もありましたが、特に市長さんは、土日祝日ほぼ毎日公務をされています。常勤なので平日はもちろん出勤されており、新聞でも拝見しますが、休日にもほぼ行事が入っており、365日近い勤務になっています。3役の方と同様に考えるのはどうでしょうか。</p> <p>私は、額のカットよりも定数のカットに重きを置いた方がいいと思います。議員さんは、一生懸命、市のため地元のために頑張っている方がほとんどですよね。21名の議員さんそれぞれの思いは地元のためという方ばかりなので、額に踏み込むよりは、定数削減の方向がいいと思います。</p>
委員	<p>こういう比較をしてはだめかもしれませんが、人口に応じた地区の議員数は算出できると思います。地元出身の議員さんは0人のため、誰に頼めばいいだろうと思うことがあります。「問題ありますか」と聞いていただいているのですが、議員活動をしているというよりは、選挙活動をしていると感じることしかありません。市民のためという目的で動いている方は、あまりいないように感じてしまうこともあります。人数を減らすに越したことはないと思います。</p>

会長	減額をするか、そうでなければ人数を減らすかということですね。確かに、議員さん1人を減らせば、少々の額を減額するよりは、はるかに削減できると思います。
委員	実働日数よりも、実際に何をしているかを広報等に掲載して、もう少し見える形で知らせていただきたいと思います。もっと実際の活動が見えてきてこそ、額が高いかどうかという議論ができると思います。
会長	活動が目に見えないということですね。 他に御意見はないですか。 今までにいろいろ出された意見が皆さんの意見だと思います。額を上げればいいという意見はありませんでした。いかに縮小していくかを考える中で、一つは定数を減らすこと、もう一つは、3役は激務をなさっているが、議員さんは3役ほどの実働はないので、そういった面も含めて額を考えるべきだという意見でした。いくら下げればいいというのは、さぬき市の現状を鑑みて、議員さん自らがこれでいいのかを真剣に考え話し合っただけで決めていただきたいと思います。こういった内容を盛り込んだ答申を行うということによろしいでしょうか。 答申の案を作成し、みなさんにお聞きして、直しながら作っていきたいと思います。 12月の議会に諮るのでよろしかったですか。
事務局	額の改定を行うという話にはならなかったもので、議案を上程することにはなりません。
委員	審議会の結論としては、定数削減が適わなければ現状維持という結論ですか。削減という結論ではないのですか。
事務局	具体的にいくらに減らすということは根拠がなく難しいという話で、自主的な減額について話し合っただけということだと理解しました。答申を受けて、定数削減を行うのか、報酬の自主的な減額を行うのかについて議会の中で議論をしていただきたいと思います旨を投げかける答申になるかと思いますが、12月議会では、具体的な金額を示し、条例改定を行うことにはなりません。
委員	人数や金額よりは、どういう政治を行うかが肝心です。少子高齢化や地

<p>会長</p>	<p>方創生ということがありますので、どんどんいい政治を行っていただけるのなら、人数も金額も増やせばいいです。どういった政治を行えるかにもう少しウェイトを置いていただければと思います。</p> <p>他に確認することはありませんか。</p> <p>審議会は本日をもって終了させていただき、答申案を事務局と相談しながら作成し、皆様に御確認いただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>これまで御審議いただきました内容に基づきまして、会長と相談をしながら答申案を作成し、各委員さんに御確認いただいて加筆修正を行った上で、市長へ答申する流れとなります。今後ともよろしくお願いします。</p> <p>最後に総務部長からお礼を申し上げます。</p>
<p>総務部長</p>	<p>特別職等の報酬に関し、慎重な御意見等をいただきまして、誠にありがとうございました。前回の報酬審議会におきましても、据え置き判断であり、議員報酬に関しては、今回と同じような御意見も踏まえた答申を行いました。その答申を受け、議会でも話し合った結果、1名の議員定数削減を行った経緯がございます。今回も答申に関し、議会事務局にも伝えてまいります。</p>
<p>事務局</p>	<p>以上をもちまして、さぬき市特別職報酬等審議会を終了します。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>〈終了〉</p>